

GCOE 国際会議出席報告書（外国旅費用）T1204

拠点リーダー 川合 光 殿

(ふりがな) 氏 名	よしおか じゅん	所属・学年/職名	指導教員名 (院生の場合)
	吉岡 潤	ソフトマター・D3	山本 潤
Tel,Fax e-mail	075-753-3789, j-yoshioka@scphys.kyoto-u.ac.jp		
発表題名	Dispersion relation of the director relaxation modes in the direction perpendicular to helical axes of cholesteric liquid crystals		
著者名	Jun Yoshioka, Yoichi Takanishi, and Jun Yamamoto		
会議名称 ・開催期間	24 th International Liquid Crystal Conference (ILCC2012) 自 2012年 8月 19日 ~ 至 2012年 8月 24日 Core to Core meeting on liquid crystals 2012年 8月 25日		
開催地 (国、市)	ドイツ、マインツ		
出張期間	自 2012年 8月 19日 ~ 至 2012年 8月 27日		
国別および 総参加者数	ILCC2012 ドイツ：約 100 人、日本：約 100 人、アメリカ：約 50 人、イギリス：約 50 人、フランス：約 50 人、イタリア：約 50 人 総参加者数：約 500 人 Core to Core meeting ドイツ：約 10 人、日本：約 20 人 総参加者数：約 30 人		
<p>発表内容、聴衆の反応、質疑応答、その他について簡潔に記述してください。 (口頭発表・ポスター発表の別も文中に明記すること。)</p> <p>ILCC2012において申請者は Dispersion relation of the director relaxation modes in the direction perpendicular to helical axes of cholesteric liquid crystals という題目でポスター発表を行った。これはコレステリック(Ch)液晶における配向緩和を理論的、及び実験的に解析するという、液晶物理において極めて基礎的な研究である。この研究における理論および実験結果は完全に新規であるが、研究内容自体は極めて基礎的であり聴衆からどの程度の興味が惹けるか申請者には発表前少々懸念があった。しかしながら実際に発表を行ったところ、発表を聴きに来たほとんどの聴衆は申請者の説明を大変熱心に聴かれており、また申請者は聴衆と理論式の導出や実験手法の詳細に関して活発な議論を行うことが出来た。発表内容を記述した申請者の論文を求める人も多く、発表は意外なほどに成功したと申請者は思っている。</p> <p>また、申請者は ILCC2012 の翌日に行われた Core to Core meeting on liquid crystals に参加し、研究に関する意見交流を行った。参加者数は少ないもののその分参加者間で密な議論を行うことができ、有意義な会議であったと思う。</p>			